

2016年3月1日  
株式会社フィスコ (3807 JASDAQ)

---

## アドバンスト・メディア、白ヤギコーポレーション、SJI と連携 ～IR 説明会など音声情報の即時テキスト化、言語解析、ビッグデータ解析、ならびに ブロックチェーン技術を活用したシステム化を推進～

---

株式会社フィスコ(本社:東京都港区、代表取締役社長:狩野 仁志、以下「フィスコ」)と株式会社 SJI(JASDAQ 上場、証券コード「2315」、本社:東京都目黒区、代表取締役社長:牛 雨、以下「SJI」)、株式会社アドバンスト・メディア(東証マザーズ上場、証券コード「3773」、本社:東京都豊島区、代表取締役会長兼社長:鈴木 清幸、以下「アドバンスト・メディア」)、および株式会社白ヤギコーポレーション(本社:東京都渋谷区、代表取締役:渡辺 賢智、以下「白ヤギコーポレーション」)の4社は、以下の通り IR 分野での連携を推進してまいります。

今回の取り組みは、上場企業の IR 支援や財務分析を得意とするフィスコ、金融システム開発に強みを持つ SJI と、音声認識技術を有するアドバンスト・メディア、および自然言語処理とデータ解析を得意とする白ヤギコーポレーションの4社の強みをそれぞれ持ち寄り、フィンテック時代における新たな IR と投資環境の飛躍的な効率化を推進するものです。

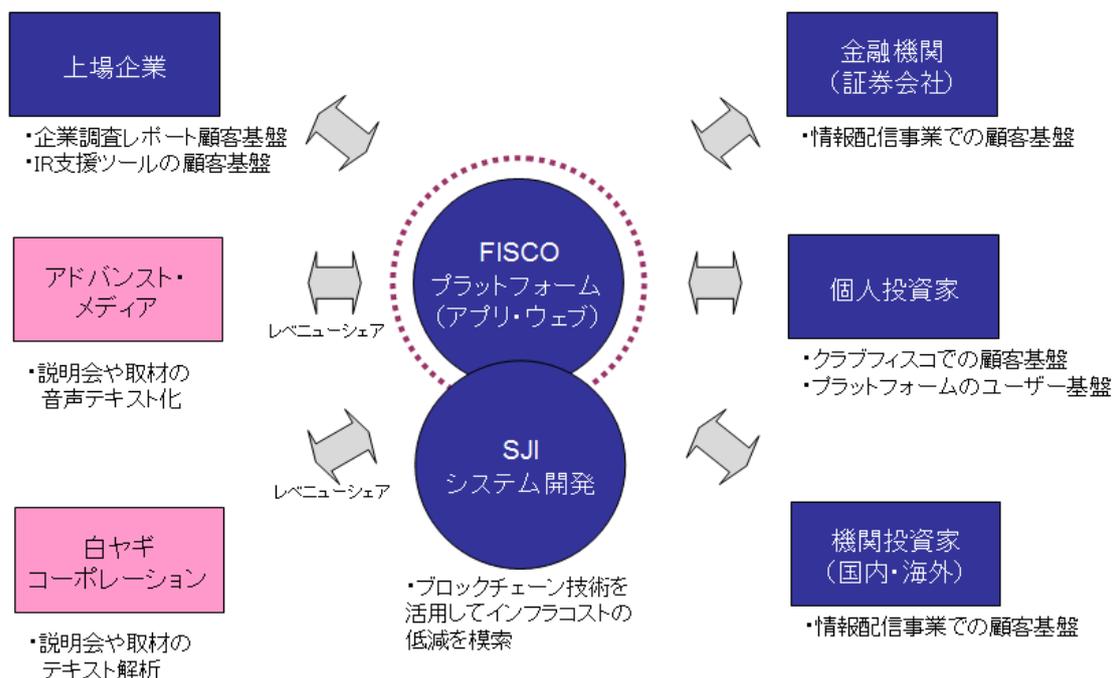
今回の取り組みで、機関投資家は投資決定における分析量を飛躍的に増加させることができ、上場企業は全ての機関投資家へ均一な情報開示が可能になります。フィスコは、従来では取得できなかった膨大なデータを保持・分析する唯一の存在へと転身いたします。また、今後、個人投資家向けのサービスも予定しており、全ての市場参加者を結ぶプラットフォーム構築を目指しております。結果、収益基盤の拡大はもちろん、中立公正な企業情報を最適な手段でもって世に知らしめるという使命を果たすことで情報格差の縮小、市場の効率化に寄与することができます。

現在、上場企業の IR 手段は決算説明会や機関投資家との 1on1 ミーティングが主流ですが、これらは限られた投資家にしか情報が伝わらず、またミーティング毎の時間的なズレから投資家間での情報格差を生む原因となっていました。また、それらの一部は動画データや音声データとして存在していますが、投資家がそれを視聴するには時間を要するため、その IR 効果は限られていました。一方で、投資家はより多くの決算説明会や 1on1 ミーティングの情報に接したいとは思っているものの、時間的制約の面から接する情報に限界がありました。相対的に短時間で読解できるテキスト化された決算説明会や 1on1 ミーティングの IR 情報を欲している機関投資家と、自社の決算や 1on1 ミーティングの情報をより多くの投資家に触れてほしいと考えている上場企業の双方にとってメリットがあります。

具体的には、企業の決算説明会や企業との 1on1 ミーティング時の音声データをアドバンス・メディアの音声認識技術を用いて即時にテキスト化し、そのテキストデータを主に機関投資家に対して提供する予定です。機関投資家にとって決算説明会や 1on1 ミーティングは時間、編集等多大な労力を費やす作業となっており、情報取得自体が目的化しているともいえます。それら全ての音声テキスト化することにより、機関投資家は調査の大幅な省力化を達成し、本来行うべき企業分析や投資判断といったコア業務に時間を割くことが可能になります。また、決算期には同時に多数の決算説明会が開催され、対応しきれない事例も散見されますが、その点についても解決策となりえます。

更に、企業の決算説明会や企業との 1on1 ミーティング時の音声データおよびそれをテキスト化したデータが一定以上溜まった際、ビッグデータ解析を行うことにより、フィスコは他社が持ち得ない意味のある膨大なデータを保有することとなります。決算説明会や 1on1 ミーティングにおける発言内容に自信がありそう、業績予想が保守的、発言内容で株価が上がりそう、株式市場で人気ある企業と発言内容が似ているなどの今まで分析対象でなかった曖昧なものを含め、データ解析を行うことを想定しています。これらの技術や蓄積したデータは、次世代のフィスコのコアコンピタンスとなり、フィスコの新たなフィンテック事業に転換され、収益基盤の拡大につながる見込みです。

SJI は今回の連携におけるシステム構築において、主要な位置を占めることとなります。決算説明会や企業への 1on1 ミーティングの動画および音声データに加え、それらをテキスト化したデータは膨大であり、あらゆる角度からの分析や AI の活用などを想定すると、極めて高い専門性を求められます。SJI がこれらに対し、金融機関システムの開発ノウハウを導入することによって、システム全体の安定性と効率化を同時達成することが可能となります。また、このデータをもとに、今後あらゆる金融サービスが生まれてくると予想されるため、ブロックチェーン技術の導入を早期に実施し、インフラコストの削減と来るべき新時代との親和性を図る予定です。





## News Release

アドバンスト・メディアは、1997 年設立の音声認識ベンダーです。医療・コールセンター・議事録・モバイル・教育・物流など、幅広い分野で音声認識技術 AmiVoice を活用したソリューションやサービスを展開しています。

白ヤギコーポレーションは、自然言語処理、機械学習、データ解析のエキスパート企業です。2013 年 5 月に設立されたばかりのスタートアップ段階でありながら、2014 年 2 月にリリースしたキュレーションアプリ「Kamelio(カメリオ)」が 2014 年の iTunes ベストアプリを受賞するなど、自然言語処理とデータ解析の技術力には定評があります。

フィスコは、1995 年の創立以来一貫して、中立・公正をモットーとして、機関投資家・個人投資家向けに金融情報・企業情報の配信事業を行ってきました。また、連結子会社のフィスコ IR では企業調査レポートやアニュアルレポート、株主通信などの IR ツールを通じて約 500 社の上場企業への営業ネットワークを有しています。

SJI はフィスコのグループ企業であり、日本国内法人及び中国現地法人に対する各種情報システムの開発およびメンテナンス・サポートを行う情報サービス事業を展開、フィンテック分野を今後の戦略的注力領域として位置づけています。

**【株式会社アドバンスト・メディアの概要】**

会社名： 株式会社アドバンスト・メディア <http://www.advanced-media.co.jp/>  
所在地： 東京都豊島区東池袋三丁目1番4号  
設立日： 1997年12月  
資本金： 4,973百万円(2015年9月30日現在)  
代表者： 代表取締役会長兼社長 鈴木 清幸  
事業内容： 音声認識ソリューションの企画・設計・開発・提供

**【株式会社白ヤギコーポレーションの概要】**

会社名： 株式会社白ヤギコーポレーション <http://shiroyagi.co.jp/>  
所在地： 東京都渋谷区元代々木町2番4号  
設立日： 2013年5月1日  
資本金： 190百万円(2016年2月1日現在、資本準備金を含む)  
代表者： 代表取締役 渡辺 賢智  
事業内容： ビッグデータ解析、自然言語処理、機械学習などのサービス提供

**【株式会社フィスコの概要】**

会社名： 株式会社フィスコ <http://www.fisco.co.jp/>  
所在地： 東京都港区南青山五丁目4番30号  
設立日： 1995年5月15日  
資本金： 1,210百万円(2015年12月31日現在)  
代表者： 代表取締役社長 狩野 仁志  
事業内容： 金融機関、投資家、上場企業を支援する各種情報サービスの提供

**【株式会社 SJI の概要】**

会社名： 株式会社 SJI <http://www.sji-inc.jp/>  
所在地： 東京都目黒区大橋一丁目5番1号  
設立日： 1998年07月14日  
資本金： 6,348百万円(2015年10月31日現在)  
代表者： 代表取締役社長 牛 雨  
事業内容： 情報サービス事業

以上